



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)8月25日号 No.1735

目次

■ 2017年上半期のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 統計速報	6
2017年1～7月のロシアのブランド別乗用車販売台数/6	
■ 『ロシアNIS調査月報』2017年9-10月号のご紹介	7
■ エトセラ	8
東方経済フォーラム「日ロビジネスラウンドテーブル」のご案内/8	
ロシア極東農業・食品セミナーのご案内/8	
■ トピックス	8
太陽日酸がロシアでターボ冷凍機販売/8	
ロシア極東ビザ簡素化、来年はさらに拡大/9	
北方領土がロシア経済特区に指定/9	

2017年上半期のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より2017年上半期のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介していく。なお、2017年上半期のロシアの貿易統計に関しては、ロシア連邦関税局のデータに基づき、後日より詳しくお伝えする予定である。

データ解説

統計局発表の速報推計値によると、2017年上半期のGDP成長率は前年同期比で1.5%の成長となった。第1四半期はプラス0.5%と緩やかな成長であったが、第2四半期にプラス2.5%という2013年第4四半期以来の大きな成長率を記録したことによる。

鉱工業部門の生産指数では、鉱業は前年同期比で3.1%、製造業は1.2%増加し、鉱工業全体で2.0%の増加となった。製造業の内訳をみると、化学分野や乗用車、バス、石油・ガス分野などで成長がみられた。鋼管やガスタービン、ガソリン、重油の生産が減少したが、全体的に多くの製品で生産は増加している。

経済発展省は、秋も成長は続き2017年のGDP成長率は2%を超える可能性もあると予測をしているが、農作物不作の影響も懸念されることから、専門家の多くは第3四半期に成長は鈍化すると見込んでいる。ロシア中銀は、消費者需要がこのまま続いた場合に限り、成長率はプラス1.3～1.8%に